

日本医師会 横倉義武会長 世界医師会会長就任記念対談



人類の健康と幸福に ますますの貢献を

このたび、横倉義武日医会長が世界医師会の会長にご就任されたことを、心よりお祝い申し上げます。横倉会長には何度もお目にかかっておりますが、iPS細胞研究について深いご理解を賜り、また、「全面的に支援したい」との心強いお言葉をいただきました際には、大変感激しましたことを覚えております。

今日、iPS細胞技術やゲノム編集、人工知能を始めとする新たな科学技術が目覚ましい進展を遂げております。これらは医療の進歩を促進すると同時に、医療現場においては新たな課題に直面することになると予想されます。従来の保健医療や高齢化に伴う課題に加え、「医学教育・医学・医療及び医の倫理」の向上を進めてこられました世界医師会の果たす役割は更に大きく、重要なものになると思います。

日本医師会においても存分に発揮してこられました横倉会長のリーダーシップの下に、世界医師会が中心となり、人類の健康と幸福にますます貢献されますことを祈念申し上げます。

京大IPS細胞研究所長・教授 **山中 伸弥**

国境なき医師団 インターナショナル会長 ジョアンヌ・リュウ氏



世界の医療現場をリードする世界医師会の会長に、日本医師会の横倉義武会長が就任した。国ごとの医療格差や紛争地における劣悪な治療環境、広がる薬剤耐性の問題など、山積みの課題にどう取り組んでいくのか。紛争地域などでの医療活動に従事する国境なき医師団のジョアンヌ・リュウ会長と今後の課題について語り合った。

日本の優れた医療制度 世界の国々に広げたい

対応策としては、時間はいきなり思っています。かかります。医療機は世界医師会と共同で、国内での感染をできるだけ抑え、新たな抗生物質、断薬を開発するしかありません。そのためにも、ぜひ、世界医師会と協働できればと期待しています。横倉 薬剤耐性は、世界医師会でも大変大きな問題と

認識しており、昨年11月には世界医師会と共同で「One World One Health」の考えの下に、国際会議を開催しました。

実際に、動物の感染症が人に感染する例もありません。動物に対する抗生物質の使い方も含め、耐性菌の研究も始まっていますので、いち早く成果を出せるよう、我々も協力して

いきたいと思います。心身に寄り添う最大のサポートを

医師として世界で活躍する二人ですが、医師としてのきっかけは何だったのですか。

横倉 私の父は、海軍の軍医で、終戦後に診療所を開きました。両親も、人のために、生懸命尽くす人、そんな姿を見ていまし

横倉 私は10代の頃に読んだアルベールカミュの「ペスト」という小説は、ベストと聞いたら、私は「ペスト」を治す薬を当時は、紛争地の厳しい環境の下で医療に従事していたので、その行動には頭が下がります。世界医師会としても、それを支えたいと思っています。

横倉 世界を渡してみようと、国によって医療のレベルも違いますし、享受できる保障も制度も違います。世界医師会会長として、それを支えたいと思っています。

横倉 日本には、国民皆保険という素晴らしい医療制度があります。それを支えたいと思っています。

横倉 日本には、国民皆保険という素晴らしい医療制度があります。それを支えたいと思っています。

横倉 日本には、国民皆保険という素晴らしい医療制度があります。それを支えたいと思っています。

横倉 日本には、国民皆保険という素晴らしい医療制度があります。それを支えたいと思っています。

横倉 日本には、国民皆保険という素晴らしい医療制度があります。それを支えたいと思っています。

横倉 日本には、国民皆保険という素晴らしい医療制度があります。それを支えたいと思っています。

横倉 日本には、国民皆保険という素晴らしい医療制度があります。それを支えたいと思っています。

横倉 日本には、国民皆保険という素晴らしい医療制度があります。それを支えたいと思っています。

横倉 日本には、国民皆保険という素晴らしい医療制度があります。それを支えたいと思っています。

横倉 日本には、国民皆保険という素晴らしい医療制度があります。それを支えたいと思っています。

横倉 日本には、国民皆保険という素晴らしい医療制度があります。それを支えたいと思っています。

横倉 日本には、国民皆保険という素晴らしい医療制度があります。それを支えたいと思っています。

横倉 日本には、国民皆保険という素晴らしい医療制度があります。それを支えたいと思っています。

横倉 日本には、国民皆保険という素晴らしい医療制度があります。それを支えたいと思っています。

横倉 日本には、国民皆保険という素晴らしい医療制度があります。それを支えたいと思っています。

横倉 日本には、国民皆保険という素晴らしい医療制度があります。それを支えたいと思っています。

横倉 日本には、国民皆保険という素晴らしい医療制度があります。それを支えたいと思っています。

横倉 日本には、国民皆保険という素晴らしい医療制度があります。それを支えたいと思っています。

横倉 日本には、国民皆保険という素晴らしい医療制度があります。それを支えたいと思っています。

横倉 日本には、国民皆保険という素晴らしい医療制度があります。それを支えたいと思っています。

横倉 日本には、国民皆保険という素晴らしい医療制度があります。それを支えたいと思っています。

横倉 日本には、国民皆保険という素晴らしい医療制度があります。それを支えたいと思っています。

横倉 日本には、国民皆保険という素晴らしい医療制度があります。それを支えたいと思っています。

横倉 日本には、国民皆保険という素晴らしい医療制度があります。それを支えたいと思っています。

横倉 日本には、国民皆保険という素晴らしい医療制度があります。それを支えたいと思っています。

横倉 日本には、国民皆保険という素晴らしい医療制度があります。それを支えたいと思っています。

横倉 日本には、国民皆保険という素晴らしい医療制度があります。それを支えたいと思っています。

横倉 日本には、国民皆保険という素晴らしい医療制度があります。それを支えたいと思っています。

横倉 日本には、国民皆保険という素晴らしい医療制度があります。それを支えたいと思っています。

横倉 日本には、国民皆保険という素晴らしい医療制度があります。それを支えたいと思っています。



世界医師会会長 ご就任を祝して

このたびは、世界医師会会長ご就任、誠にありがとうございます。医師の一人としても誇らしく、大変うれしく思っています。世界には日本のように国民皆保険の下で、保険証さえあれば、いつでも、どこでも、誰もが優れた医療を受けることができる国もあれば、必要な医療を受けることができず、子ども達が幼いうちに生命を落してしまうような国も多くあります。このような状況の中で、世界医師会会長にご就任された横倉会長には一人でも多くの人々が過不足のない医療を受けられるよう、強いリーダーシップを発揮して頂けることを期待しています。私は現在、宇宙飛行士であった経験に基づき、宇宙の滞在技術に関する研究に取り組んでいますが、このことは災害時や遠隔地などにおける医療技術の開発にもつながるものと考えています。この研究が、横倉会長のこれからの活動に少しでも役立つことができれば幸いです。

東京理科大学特任副学長 JAXA技術参事 **向井 千秋**

薬剤耐性問題 重大な課題

広がる脅威 対策に期待

医療機関への攻撃 許さない

医師会の連携に感謝

横倉 最後、それぞれの立場から互いにメッセージをお願いします。

横倉 最後、それぞれの立場から互いにメッセージをお願いします。

横倉 最後、それぞれの立場から互いにメッセージをお願いします。

横倉 最後、それぞれの立場から互いにメッセージをお願いします。

横倉 最後、それぞれの立場から互いにメッセージをお願いします。

横倉 最後、それぞれの立場から互いにメッセージをお願いします。

国境なき医師団

1971年にフランスで設立され、紛争や災害、貧困などによって命の危機に瀕している人々に医療を提供する非営利で国際的な民間の医療・人道援助団体。日本を含む世界29か国に事務局を持ち、医師や看護師を始めとするスタッフが、世界約70の国と地域で援助活動を行う。

近年では、西アフリカで流行したエボラ出血熱への緊急対応、シリアやイエメンといった紛争地、地中海での海難救助やロヒンギャ難民への医療提供など、「独立・中立・公平」を原則とし、人種や政治、宗教にかかわらず幅広い医療援助活動を行っている。日本においても東日本大震災や熊本地震の被災地で活動した。1999年にノーベル平和賞受賞。



Report

「世界全体の社会的共通資本」としての医療を理想に掲げ、前進させていきたい

世界医師会は、1947年に設立され、現在114か国の医師会が加盟する組織であり、医療の幅広い分野でWHOなどと積極的な連携を図り、医療制度の構築と公衆衛生体制の強化に重点を置いた活動を展開している。その総会が今年10月11日から14日までアメリカのシカゴで開催され、日本医師会の横倉義武会長が第68代世界医師会会長に就任した。日本人で世界医師会会長に就任するのは、武見太郎、坪井栄孝元日本医師会会長（いずれも故人）以来、3人目となる。



10月13日に日本からの参加者も含め、約400名の出席の下に行われた就任式で横倉会長は、「国民の健康寿命を世界トップレベルにまで押し上げてきたわが国の医療システムを世界に発信することで、世界中の人々の幸福の実現に貢献していきたい」と述べるとともに、さまざまな国、地域の医療課題について、より真摯に耳を傾け、解決に向けた世界医師会の取り組みを加速させていく考えを示した。また、1960年代にシカゴ大学経済学部でも教鞭をとっていた日本の経済学者である故宇沢弘文東京大学名誉教授の言葉を引用し、「医療が『世界全体の社会的共通資本』となることを理想に掲げ、世界医師会を前進させていきたい」とした。



日本医師会

会員数約17万人を有する民間の学術専門団体である。医療現場からの声を基に国に対して、様々な提言を行っている。2011年3月に発生した東日本大震災の際などには、全国の医師の協力の下に日本医師会災害医療チーム(JMAT)を組織し、被災地の支援に当たった(写真下)。国民に対しては、かかりつけ医を持つことを提唱し、その普及に努めている。また、同会の設立記念日である11月1日を「いい医療の日」として、国民に日本の医療の素晴らしさを感じてもらおうとともに、自身や周りの人の健康について考えるきっかけとしてもらうことを提案している。

